

自主・創造・根気

第27号

2019. 3. 5

三田市立狭間中学校

卒業式を前に・・・

3月9日(土)は、いよいよ第36回卒業証書授与式です。138名の卒業生は、それぞれの進路に向かって旅立ちます。

入学当時は、まだ幼さが残っていた3年生も、狭間中学校の授業や行事、部活動などの様々な経験を通して、少しずつたくましくなりました。3月12日(火)に公立高校の入試を控えている生徒たちにとっては、しみじみと中学時代を振り返る余裕はないと思いますが、3年間の中学校生活を財産に、思い出とともに胸を張って卒業してほしいと願っています。卒業生のみんなが立派に義務教育9年間の最後を締めくくることができるよう、在校生とともに心のこもった素晴らしい卒業式にしていきたいです。

保護者の皆さまにおかれましても、卒業式を迎える喜びはひとしおかと思えます。中学生の時は子育ても大変難しく、いろいろご苦労もあったと推察いたします。子どもとともに悩み、喜び、時には怒り、そうして迎える卒業の日、誠におめでとうございます。卒業生一人一人が、それぞれの新しい世界で元気に活躍することを、教職員一同心より願っております。

この学級・学年で過ごして

3月4日(月)、今年度10回目の「生活アンケート」を実施しました。

今回の「生活アンケート」は、今年度の学校生活を振り返る意味で、質問項目を【①この学級・学年で自慢できること】【②自分が言われて嬉しかった言葉、されて嬉しかったこと】【③今、気になることや悩んでいること(次年度に向けて不安に思うこと)】の3点にしました。

【この学級・学年で自慢できること】の質問では、どの学年でも「元気、明るい(1年:50.0% 2年:55.6% 3年:66.1%)」「あいさつができる(1年:27.4% 2年:25.8% 3年:11.8%)」「仲が良い(1年:13.2% 2年:8.1% 3年:23.6%)」の回答が多く、学年毎では、1年は「協力し合える」「優しい」「楽しい」等、2年は「礼が返せる」「集中して授業を受ける」「みんなで協力できる」等、3年は「優しい」「楽しい」「面白い」

「団結力がある」「個性豊か」等の回答が多くありました。

【自分が言われて嬉しかった言葉、されて嬉しかったこと】の質問では、「ありがとう(1年:27.4% 2年:29.8% 3年:43.3%)」等の“感謝の言葉”の回答がもっとも多くありました。「ありがとう」の言葉かけが、更に「優しさ」や「思いやり」の輪を広げているように思います。困った時やしんどい時の「大丈夫？」の声かけや手助け、さりげないお手伝いや親切等の回答も多くあり、褒められること、励まされること、認められることも含めて、人との関わりの大切さを改めて感じました。

【今、気になることや悩んでいること(次年度に向けて不安に思うこと)】の質問では、1年は「勉強、テスト等 8人」「人間関係 3人」「部活動 1人」「クラス替え 5人」等、2年は「勉強、テスト、受験、進路等 32人」「人間関係 1人」「部活動 2人」「クラス替え 9人」等の回答がありました。やはり来年度のクラスが気になるようです。3年は「受験、勉強 14人」「高校生活等 6人」「友達ができるか 7人」等の回答がありました。また、次年度に向けて「後輩のお手本になる」「受験生になるので頑張る」等の前向きな回答もありました。

逆境を好機に変える

3月12日(火)は、公立高校の入試です。受験者には、最後の最後まで諦めずに全力で自分の進路を切り開いてほしいと思います。

○ 奇跡は起こすもの

数年前、パリの歌劇場で新作オペラの上演が計画され、何ヶ月も前から百人以上ものスタッフが厳しい練習を重ねていました。ところが開演まで数日とせまった時、なんとオーケストラが所属会社とのトラブルでストライキを起こし演奏しないと決めてしまいました。誰もが「上演は無理」とあきらめていました。何千枚ものチケットは売り切れていて大変な事態が予想されました。

ところが、舞台上でただ一人残された指揮者の大野和士(おおのかずし)氏は数日間徹夜もいとわず、オーケストラ用の譜面を3台のピアノ用に編曲し、残された時間で練習を敢行しました。

開演当日、観客一杯の劇場でピアニストは2時間弾き通して演奏しました。オペラは大成功をおさめ、鳴り止まない拍手がいつまでも続いたそうです。

*教育開発研究所のホームページより